

顔の見える木材での快適空間づくり事業のうち A材丸太を原材料とする構造材等の普及啓発

事業実施主体

酒井産業(株) + (NPO)木づかい子育てネットワーク

実施体制・連携グループ

酒井産業株式会社(事業の総括、製品の開発、企画)
NPO法人木づかい子育てネットワーク(事務、進行管理、マーケット調査)
連携団体
製品の生産、デザイン開発 ……木育全国生産者協議会(会員30社)
製品に対する助言、評価 ……埼玉大学吉川研究室
デザインに対する助言 ……筑波大学宮原研究室
PR方法に対する企画・協力 ……木づかいビジネス協議会

【テーマ】A材を利用した質の高い木育関連製品開発と その普及・啓発

背景と目的

【背景】

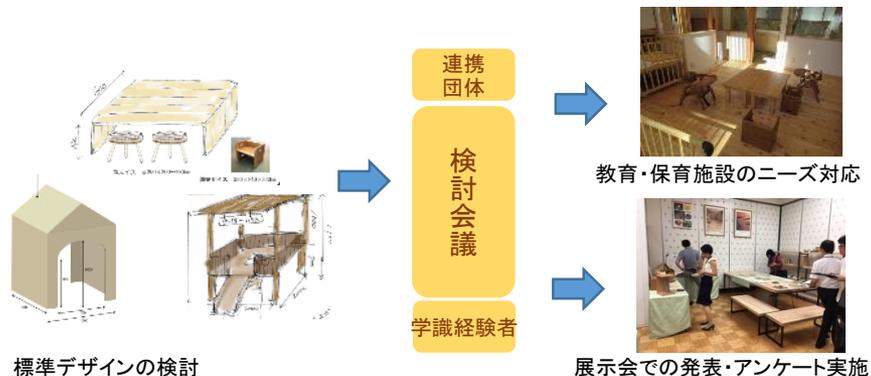
- ・木育をキーワードとする施設、家具、遊具等の開発が各地で進む
- ・価格競争力、優れたデザイン、教育的価値を持つ質の高い製品ニーズ

【目的】

- ・教育界におけるA材ニーズを喚起する製品開発とその普及啓発の実施

対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

- (1)家具、内装材: 幼稚園等で用いられるテーブル、イス、内装用の床材、壁材など
 - (2)室内遊具、玩具: 室内で用いる滑り台等の室内遊具や大型積み木、キッチンセットなど
 - (3)屋外で利用する遊具等: 木育ツリーハウス、屋外用ベンチ、テーブル、ミニあずま屋など
- <想定されるマーケット>…幼稚園、保育園等、生活協同組合など



事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

- (1)教育、保育等の木材製品ニーズの検討
- (2)A材丸太を原料とする高付加価値製品(教育用家具、遊具、玩具等)の標準モデル作成
- (3)製品の良さをわかりやすく伝えるための展示会等への出展

上記実施項目による成果の普及・活用に向けた工夫、こだわり
～差別化に向けた5つの工夫点

- (1)上質な国産の木材を原料とする魅力の発揮
- (2)汎用性を持ちながらも、個別ニーズに対応する柔軟性
- (3)教育的価値の付加
- (4)各種安全基準等に準拠した安全生、快適性
- (5)製品の製作過程が見える化される展示会・WEBによるPR

【事業の効果】

木育に期待する教育機関に向けた標準モデルの開発と普及、デザインの共有による地産地消の促進、未だ十分に利用が進まない木材資源の高付加価値利用の実現が期待される。

スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

・検討会議(第1回)
標準モデル開発・ニーズの検討

・検討会議(第2回)
標準モデル試作・PR方法検討

・検討会議(第3回)
展示会出展
事業の総括